

J R 連合

総がかりの運動を
強く広く
展開しよう!

http://www.jr-rengo.jp



J R 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者/松岡裕次 ●編集者/中村鉄平



facebook

JR連合



twitter

JR連合



全国各地で開催されたメーデー大会において、働く者が主役として、笑顔あふれる未来をつくる決意を共有した

4月27日、都内にて、第90回メーデー中央大会が開催され、連合の構成組織をはじめ、中央労協、労金協会、全労済などの関係団体などから約3万7000人の仲間が集まり、JR連合からは約3000人が参加した。

第90回メーデー中央大会 「時代を切り拓く」自覚を さらに高めよう

体などから約3万7000人の仲間が集まり、JR連合からは約3000人が参加した。冒頭、主催者を代表して、神津里季生連合会長が挨拶し、99年前に始まった日本のメーデーの「第90回の節目を迎え、記念すべきメーデー中央大会であり、連合結成30周年のメーデー」と述べ、「この99年間に積み上げてきた団結の力をもつてすれば、どのような状況も乗り越えられる。働く者こそが主役であり、時代を切り拓くのは私自身であるという自覚をさらに高めよう。こうした信念を確認したい」と訴えた。また、今春季生活闘争については、「現時点で賃上げ幅の全体集計は昨年を上回っている。とりわけ中小の頑張りの特筆もの。まさに今世紀最大の上昇幅であり、この元気を最後までつなぎ、日本全

2019年度交通重点政策 政策に関する意見交換を実施 四国・東海・九州



J R 連合香川県協「政治・政策学習会」
【5月2日】



J R 東海ユニオン静岡地本親子対話
【5月6日】



J R 九州労組「交通重点政策意見交換会X」
【5月11日】

J R 連合は、産業交通政策を運動の重要な柱と位置付け、取り組みを展開してきた。昨年4月に策定した「交通重点政策2018-2019」を活用した各県真備町で地域の自主防災リーダーなどを務める守屋美雪さんがそれぞれスピーチした。

メーデー宣言を採択後、がんばろう三唱で会を締めくくった。

方面への提言活動に注力しており、本年4月には顕在化した新たな課題に対する政策要望をまとめた「補足版」を策定し、今後の取り組みに活用していく。

5月2日、J R 連合香川県協議会主催「政治・政策学習会」に、J R 連合から中村鉄平交通政策部長が参加した。学習会には、今回の統一地方選挙で当選した山本悟史香川県議らを招き、選挙総括とともに交通政策について意見交換を行った。

中村部長から、J R 産業の抱える政策課題とともに「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会II」の現状等を説明し、地方自治体としての取り組みを要請した。

5月6日、「J R 東海ユニオン静岡地本親子対話」において、J R 連合から政所大祐企画部長、中村部長が参加し、J R 連合から「チーム地域共創」をつ

くる9提言と関連するさまざまな動向」について説明した。出席者からは、J R 東海・身延線の活性化・利用促進にむけた方策について発言があり、他の路線・エリアでの取り組み事例などに触れつつ、地域住民や沿線自治体との連携・協働の重要性を確認し合った。

5月11日、J R 九州労組による「交通重点政策意見交換会X」が開催され、J R 連合から中村部長が参加

福知山線列車事故から14年 JR西労組 「事故を決して忘れず、 安全を誓う集い」

責任組合として妥協なく 安全を不断に追求

2005年の福知山線列車事故から14年を迎えた4月25日、大阪市内にて、JR西労組主催の「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」が開催された。JR連合からは、松岡裕次会長をはじめJR連合安全対策委員会及び単組代表としてJR連合各副会長が出席し、JR西日本連合加盟組を含む総勢約350人が参集した。

集いの冒頭には、事故で尊い命を失われた107人の御霊にご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われた多くの方々の快癒を祈念して、参加者全員が黙祷を捧げ、二度と事故を繰り返さないことを誓うとともに、安全確立にむけた決意をあらためて確認し合った。終了後は、各単組代表者らと、事故現場への献花により犠牲者を追悼した。

主催者を代表して挨拶に立ったJR西労組の荻山市朗中央執行委員長は「本日の福知山線列車事故追悼慰霊式は初めて事故現場である『折りの杜』で行われた。時間が経過しても傷は癒えることがない。昨年、ご遺族などをつくる『4・25ネットワーク』による『追悼と安全のつどい』に参加し、その後の懇親会でご遺族の方から『労働組合は何をしてきたのか』と問いたただかれた。組合員の半数近くが事故後入社となる中、安全の確立を最優先に、二度と事故を繰り返さないため、

不断に取り組む決意を確認する」と訴えた。

また、JR連合を代表して松岡会長は「事故以降、JR連合運動の最重要課題に安全確立を掲げ、JR連合の綱領を改定し、安全指針や行動指針などの策定といった取り組みを進めてき



ご遺族からの声に触れ、労働組合として安全確立に取り組むことの重要性を訴える荻山執行委員長

た。しかしながら、JR連合第27回定期大会以降、6件の死亡労災事故が発生した。これらの多くは過去に起きた事故と同種のものであり、今一度現場実態に即った安全対策を講じていかねばならない。本年10月には第11回安全シンポジウムの開催を予定している。あらためてグループ会社や協力会社を含めたすべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロにむけて、安全最優先の取り組みを展開していく」と力強く語った。

基調講演として、新幹線重大インシデントに係る有識者会議で座長を務めた関西大学社会安全学部の安部誠治教授が「JR西日本の安全性向上の課題」をテーマに語った。

続いて、宮野勇馬政策・調査部長から「JR西労組組合員の安全意識」、福本英治業務部長から「JR西労組安全提言の振り返りと今後の取り組み」について、それぞれ説明があり、JR西労組の「JR西日本グループ鉄道安全活動計画2022」への取り組みと、今後の検証と実践にむけた考えが示された。

最後に、新倉実青年女性委員長が読み上げた集会アピールを採択し、上村良成書記長の閉会挨拶で締めくくられた。



事故を風化させない決意を再確認し、安全を守っていくことへの思いを共有した参加者

特集

民主化闘争 54

根深く蔓延る極左勢力

前回「特集」で紹介した
牧久氏の著書「暴君 新左翼・松崎明に支配されたJR秘史」の中から、「革マル派浸透問題」の現状について取り上げていく。

「終章 三万四五〇〇人の大脱走」にある、JR東労組が2018春季生活闘争を巡って昨年2月初めにスト戦術を打ち出してから組合員大量脱退については次のとおり。

「同年二月中旬すぎからJR東労組からの脱退者が激増し、約四万七〇〇〇(二月一日現在)だった組合員数は三カ月半後の六月一日には一万四〇〇〇人まで落ち込んだのである。(略)発端は春闘での賃上げをめぐるJR東労組がスト権を確立し、ストを構えたことであつた。(略)会社側は一步も引かず、三十余年にわたり労使紛争を防止する「安全弁」となつてきた「労使共同宣言」の失効を組合側に通告する『動労革マル的な運動の先組帰りを彷彿する状況で、会社側の「労使共同宣言」の失効、通告は事実上の破棄通告」であり、組合員側は「宣戦布告」となつたことを協調した。『「労使共同宣言」は、旧国鉄時代の末期、(略)組合の「暴走」に歯止めをかけ分割・民営化のスピードを上げるために、二度にわたつて当時の組合側に提示したのがそもそもの始まりである』

「しかし、JR東日本が発足して松崎明の主導で会社側と結んだ『労使共同宣言』は、『労使対等論』に立つ組合側が逆に「対決が生じるような強政策は取るな」と会社側を牽制することに比重があつた、と見てもよい。

「JR総連・JR東労組は組合員の大量脱退によって組織員数が大きく減少し、まさに組織瓦解したといえる。しかし、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透しているという内情に關しては、まったく解決には至つていないということだ。むしろ浸透の度合いはよりいっそう濃くなつたともいえるのかも知れない。昨年12月に警察庁警備局が「治安の回顧と展望」で、JR総連及びJR東労組について「6月にそれぞれ定期大会を開催し、JR東労組から3万人を超える組合員が脱退する」という事態を受けて、革マル派創設時の副議長である松崎明元JR東労組会長

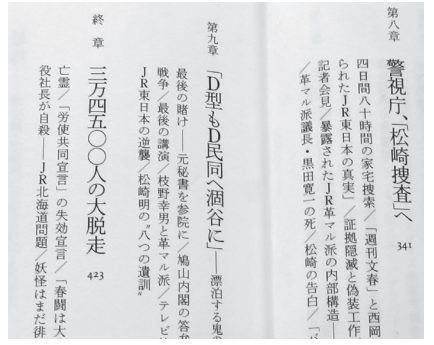
「(故人)が提唱した労働運動理論を基礎に組織再建に取り組む方針を決定した」と指摘したことから裏付けされる。

牧久氏が本書の中で「JRの妖怪・松崎明は、徘徊し続けている」と表現した懸念の声をあらためて反芻し、根深く蔓延る極左勢力の一掃と真の民主化闘争完遂にむけて引き続き取り組んでいかなければならぬ。

「(故人)が提唱した労働運動理論を基礎に組織再建に取り組む方針を決定した」と指摘したことから裏付けされる。

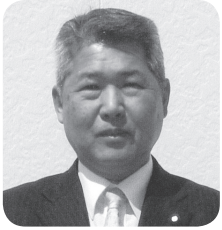
牧久氏が本書の中で「JRの妖怪・松崎明は、徘徊し続けている」と表現した懸念の声をあらためて反芻し、根深く蔓延る極左勢力の一掃と真の民主化闘争完遂にむけて引き続き取り組んでいかなければならぬ。

著書「暴君」の目次より



地方議員団紹介
[JR西労組]

広川町議会議員(和歌山県)
梶原和昌さん



JR連合の皆様、和歌山県広川町議会議員の梶原和昌でございます。私は、1975年4月に国鉄へ入社し、2015年7月に58歳で早期退職して、同9月の広川町議員選挙に立候補し、現在、町議会議員として活動しています。

私たちが町議会議員として活躍できるのも、労働組合にはじめ、分会・支部・地本で役員をさせていただいたからです。組合運動では、仲間の大切さや豊かでゆとりのある社会をめざす運動、さらにはボランティア活動など、私たちが町議会議員として活躍するために活かさないかと思ひ、町議会議員選挙に立候補しました。立候補を表明してから準備期間が少ない中で、JR西労組組合員と退職者協議会の仲間の皆さんに、選挙事務所や選挙カーの看板を手作りで作成していただきました。

今後とも住みよい町づくりのために取り組んでいきますので、皆様のご支援をお願いいたします。

2019春季生活闘争【グループ労組】
(5月8日報告まで)
ベア・制度改善の成果で
さらに相乗効果を

47単組妥結 30単組でベア獲得

- JR西日本広島メンテック労組
【3月11日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・夏季手当 2・7ヵ月
・年度末一時金
・祝日手当の新設
・係長昇格時の昇給額増額
・管理職昇格時の調整手当増額
九州ロジスティックス労組
【3月18日妥結】
・定期昇給 実施
- JR西日本金沢メンテック労組
【3月20日妥結】
・特別昇給 1000円
・年間臨給 4・92ヵ月
・嘔吐物処理手当の新設
・職務手当の増額
JR西日本ウェルネット労組
【3月29日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 700円
・夏季手当 1・9ヵ月
・カフェテリアポイントの
- 助勤旅費の増額
JR西日本金沢メンテック労組
【3月20日妥結】
・特別昇給 1000円
・年間臨給 4・92ヵ月
・嘔吐物処理手当の新設
・職務手当の増額
JR西日本ウェルネット労組
【3月29日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 700円
・夏季手当 1・9ヵ月
・カフェテリアポイントの
- 見直し
出張旅費の増額
・年5日以上の年次有給休暇の取得後遺・管理体制の構築
後藤工業労組
【4月4日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 300円
・夏季手当 3・2ヵ月
JR西日本ビルト労組
【4月8日妥結】
・定期昇給 実施

- ・ベア 1100円
・年間臨給 5・4ヵ月
JR西日本テクシア労組
【4月10日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 1200円
・年間臨給 5・38ヵ月
JR西日本フードサービスネット労組
【4月15日妥結】
・定期昇給 実施
・夏季手当 2・1ヵ月
・保存休暇積立日数の上限引き上げ、使用目的拡大
・半日年休制度の導入
・列車地上職の当直泊手当の増額
JR西日本伊勢丹労組
【4月18日妥結】
・定期昇給 実施
・年間臨給 2・5ヵ月等
・一時金 0・55ヵ月等
・勤務間インターバル制度の導入
・自動時間外計上システムの導入
・事業所内託児所の試験的
- 設置
ホテルグランヴィア広島労組
【4月19日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 200円
・夏季手当 1・3ヵ月
JR西日本総合サービス労組
【4月19日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 700円
・夏季手当 2・55ヵ月+
・年度末一時金 1000
・00円等
四国Kiosk労組
【4月19日妥結】
・定期昇給 実施
・夏季手当 2・06ヵ月
JR西日本新幹線テクノス労組
【4月20日妥結】
・定期昇給 実施
・L・C層社員に対する賃金は正措置の実施
・夏季手当 3・0ヵ月
・家族手当(子)の増額
・家族手当の寡夫への対象拡大
・出産祝金の増額

- まねき食品労組
【4月22日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 1000円
JR西日本テクノス労組
【4月23日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・中途採用者の基盤内賃金の改善
・年間臨給 5・0ヵ月
・家族手当(子)の増額
NESCO労組
【4月23日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・夏季手当 2・7ヵ月
JR西日本福岡メンテック労組
【4月23日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 800円
・祝日勤務手当の新設
・作業責任者手当の支給対象項目の拡大
・資格手当の見直し
西日本電気テック労組
【4月23日妥結】
・定期昇給 実施
- ・ベア 500円
・夏季手当 2・7ヵ月+
50000円
・社員持株会制度の導入
・ゴールデンウィークの連続休暇の指定
東海キヨスク労組
【4月25日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・年間臨給 5・15ヵ月
・フォークリフト運転手当
・繁忙期勤務手当の新設
JR東海高島屋労組
【4月25日妥結】
・定期昇給 実施
・夏季手当 2・6ヵ月
・年間休日数日の増
レールテック労組
【4月25日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・夏季手当 3・2ヵ月
JR東海物流労組
【4月26日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 500円
・夏季手当 2・65ヵ月
・育児時短勤務の対象期間の延長
・福利厚生制度の見直し

交運共済【ユース】

みんなで暮らしをガード

交運共済 (JR職域生協)

全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

自然は強い。共済も強い。

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

規約引継団体：明治火災生命保険株式会社



- ・定期昇給 実施
・ベア 300円
・夏季手当 3・2ヵ月
JR西日本ビルト労組
【4月8日妥結】
・定期昇給 実施

- ・定期昇給 実施
・ベア 800円
・祝日勤務手当の新設
・作業責任者手当の支給対象項目の拡大
・資格手当の見直し
西日本電気テック労組
【4月23日妥結】
・定期昇給 実施

- ・定期昇給 実施
・ベア 500円
・夏季手当 2・5ヵ月+
30000円
JR東海バスユニオン
【4月26日妥結】
・定期昇給 実施
・ベア 150円
・インフルエンザ予防接種費用の補助額増額